



要小学校の3・4年生が梨農家見学を行いました！

要小学校では、農家で働く人がどのような仕事をどのように工夫しているのかを知ること、身近な地域の人と自分たちの食とのつながりに関心をもつことをねらいとし、JA つくば市学校給食部会の御協力のもと、大砂で梨を栽培されている塚本忠男さんの梨園見学を行いました。

梨づくり40年の塚本さんの梨はとても甘くてみずみずしく、梨園まで買いに来られるお客さんも少なくありません。また、なんとと言ってもお客さんのことを第一に作られた愛情たっぷりの梨を栽培されています。

梨は病気や害虫に弱く、何度も農薬散布や消毒を行います。ところが、塚本さんは「お客さんの口に入るものだから」と必要最低限の量・回数しか行わず、収穫



時期が近づく6月以降は一切行いません。

そんなこだわりの梨を栽培されている塚本さんの話に耳を傾けながら、熱心にメモをとる子供達。毎年寒さの厳しい12～2月に剪定（せんてい：質の良い梨を作るため、樹木の枝を切ること）を行うことや、病気や害虫・鳥・台風などの自然災害から守るために様々な工夫をされていることを学びました。

質問タイムでは先生が止めなければならないほど沢山の質問が飛び交いました。塚本さんは子供達の鋭い質問に驚きながらも、笑顔で答えてくださいました。



お話を伺ったあとは、塚本さんの御厚意により梨を頂きました。採れたての甘くておいし～い梨に子供達も大喜び。とても充実した時間となりました。

「来年度もこのような機会をつくっていきたい」と要小学校の安田校長先生。このように、学校では子供達の健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくむためさまざまな教育が行われています。今後も御理解と御協力をお願いいたします。

